



村山市立楯岡中学校グランドデザイン（令和7年度）

教育振興基本計画

学習指導要領

山形県「7教振」

村山市の教育

1 学校教育目標「感性をみがき、未来を生き抜く力を育む学校」

2 めざす学校像【学ぶ】「夢の広がる学校」・・・（探求力）
【響く】「心が響きあう学校」・・・（自治力）
【琢く】「活力に満ちた学校」・・・（挑戦力）

3 めざす生徒像

- （1）自分の夢を求め、その実現のために主体的に学び続ける生徒
- （2）優しさや美しさに感動できる豊かな感性を持った生徒
- （3）運動や文化活動を愛し、前向きにチャレンジする生徒

生徒の実態

生徒の願い

保護者の願い

地域からの期待

学校文化（校風）

教職員の「心意気」

「深い愛情と高い志をもって 一人一人の生徒を大事にする学校をつくる」

（どの学校よりも生徒たちを大事にする学校をつくる）

～ 幸せになるために生まれてきた全ての生徒たちのために

今の幸せを保障し 未来の幸せにつなげる学校にする ～

だから 授業や生徒と向き合う時間を大事にしていく

『経営の重点』

「確かな学力」向上戦略

- 諸検査・調査結果を活用した授業改善
- 「学びのプラン」を活用した学びの動機づけと振り返り
- 「個別最適な学び」の提供
- 「楯中Life」の活用による学びの振り返り
- 一人一台端末等を効果的に活用した家庭学習の充実と授業との連動
- 総合的な学習の時間を核とした探求的な学びの充実
- 教師の主体性を引き出す「個人研究（伴走型支援）」の実践と深化
- 教育課程編成の検証 等

「教師力」向上戦略

- 授業に係る「チャレンジ研究」の主体的な設定と実践
- 外部講師（伴走支援）招聘による校内研究の推進と深化
- 定期的な教科部会による日常的な研修体制の構築
- ニーズに応じた各種研修会の活性化（授業改善、生徒指導・生徒理解、学級経営、特別支援教育、危機管理 等）
- 校内倫理委員会の活性化等による危機管理意識の更なる醸成
- 提案型の運営委員会による組織力の活性化 等

「社会力・人間力」成長戦略

- 体験的な活動を核にした生徒会活動の活性化
- 生徒会活動・学校行事等、生徒の主体的な活動推進による集団づくり
- 「Unity タイム」を活用したコミュニケーションスキルの向上
- 「学級スローガン」の達成に向けた振り返り活動の重視等による人間関係づくりや所属意識の醸成
- 地域行事・地域ボランティア活動への積極的な参加による「心づくり」の推進 等

「地域連携・地域貢献」強化戦略

- 学区内小学校・PTA、同窓会との連携推進
- 地域ボランティア活動の推進（東沢バラまつり前の清掃活動等）
- 学校だより・HP更新による情報発信 等

「安心・安全」向上戦略

- 健康診断の受診推奨による早期発見・治療の実現
- 避難訓練や性教育・食育・喫煙防止・情報教育等に係る教育講演会の実施による「いのちの教育」の推進
- 緊急メール配信システムの有効活用・情報共有 等

日常的な効果検証の継続

P 経営プラン 教職員の発想

目的、目標の共有化・焦点化
（重点を絞る、コンセンサス重視）

D 検証しながら実行（スクラップ&ビルド）

A 分析と新プラン（振り返りから新たな発想と提案）

C 評価・アンケート

（教職員・生徒・保護者・地域の声）

「希望の登校」推進戦略

- 生徒指導対策委員会・いじめ対策委員会の効果的な活用による不登校・不適応等への組織対応の強化
- 継続的なケース会議の実施による支援策の具体化
- 個別支援計画の共有・活用と更新（使える計画へ）
- 「心のアンケート」やQU等による心身の状況把握
- スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実
- 「パワーアッププロジェクト」による生活習慣改善と心身の健康づくり

- 「楯中Life」の活用による生活の見直しと自己管理
- 一人一台端末を活用した「心の健康観察」の実施
- 「別室登校」等、校内の居場所づくりの工夫と個に応じた支援体制の構築（学習サポーター・特別支援教育補助員との連携）
- 市教育支援センター「ひまわり」との連携による個に応じた支援体制の充実 等